

CONTENTS

Chapter 1

マイクロサージェリーによる 歯周組織再生療法のパラダイムシフト

Section 1	歯周外科治療：切除療法から歯周組織再生療法へ	8
Section 2	歯周組織再生療法を成功に導くための3原則	10
Section 3	「歯間乳頭部の初期閉鎖」が歯周組織再生療法の成功の鍵を握る	12
	1. 失敗からのスタート	12
	2. 歯間乳頭部での早期の創傷治癒の評価：EHI score	13
	3. 歯間乳頭部への血液供給を知る	14
Section 4	歯間乳頭部の初期閉鎖率を向上させた4つのターニングポイント	16
	1. 歯間乳頭部を保存する切開線の考案	16
	2. 再生材料の進化：エムドゲインの登場	16
	3. マイクロサージェリーの応用—再生材料からテクニックへ	17
	4. 低侵襲なフラップデザインの登場	18
Section 5	フラップデザインの変遷およびそれぞれの適応症	22
	各フラップデザインの適応症	24
Section 6	歯周疾患による歯槽骨欠損から今を知る	26
	1. 現時点における歯周組織再生療法の適応症	27
	2. 垂直性骨欠損をもつ歯の10年後の予後	27
	3. 根分岐部病変をもつ歯の11年後の予後	28

Chapter 2

歯周組織再生療法を成功に導くための『術前準備』

Section 1	もっとも低侵襲な歯周治療である非外科治療の実力	32
	1. MINST (minimally invasive non-surgical technique)の可能性	33
	2. MINSTに関する文献的考察	34
	3. 当院で行っている非外科治療	35
Section 2	歯周組織再生療法の結果に影響する因子	36
	1. 患者由来の因子	37
	2. 歯牙因子と骨欠損形態由来の因子	39
Section 3	歯周基本治療の再評価の時期	42
	1. 再評価の時期, 1か月後? 2か月後?	42
	2. 再評価後のディシジョンメイキング(治療法の意味決定)	44

Chapter 3

MISTを用いた低侵襲 歯周組織再生療法：サージカル テクニック—切開から縫合までのstep by step(垂直性骨欠損)—

Section 1	症例をとおして, MISTのサージカルテクニックをマスターしよう!	48
	1. 初診時の状態	48
	2. 再評価時の状態	48
Section 2	マイクロサージェリーを行うための術前準備	50
Section 3	歯間乳頭部の切開	52
	1. Lining切開(一次切開), deepening切開(二次切開)およびマイクロブレードの紹介	52
	2. MPPT/SPPFの使い分け	54

	3. 切開の位置	54
	4. 切開の角度	55
	5. MPPTによる切開の深度	56
Section 4	歯肉溝切開	57
	1. ポジショニングの重要性	57
	2. 歯肉溝切開—[4]の遠心隣接面・頬側	59
	3. 歯肉溝切開—[5]の頬側から近心隣接面中央	60
	4. 歯肉溝切開—[4]の遠心隅角から口蓋側, [5]口蓋側から近心隣接面中央	61
	5. 患者のポジショニング	62
	6. 倍率と照度の使い分け	62
Section 5	頬側フラップの剥離	63
	1. 剥離の開始位置, ポジショニング	64
	2. 頬側フラップの剥離方法	65
	3. 頬側フラップの剥離範囲	67
	4. 頬側フラップのトリミング	68
Section 6	歯間乳頭部の切離	69
Section 7	舌側フラップの剥離	72
Section 8	デブライドメント	74
	1. 不良肉芽のデブライドメント	75
	2. 根面のデブライドメント	76
	3. デブライドメント終了後の骨欠損形態(とくに骨壁)の確認	76
Section 9	再生材料の選択と適応	78
	1. 再生材料の選択基準(contained defect/non-contained defect)	79
	2. 筆者の考える再生材料選択のディシジョンツリーおよび実際の臨床	81
Section 10	縫合	83
	1. 垂直懸垂マットレス縫合(垂直マットレス縫合変法)	84
	2. 縫合の実際	85

Chapter 4

低侵襲 歯周組織再生療法： 最新エビデンスに基づく臨床例10

【低侵襲なフラップデザインの代表：MIST, M-MISTを応用した臨床例】

Case 1	MISTを用いた大臼歯部の垂直性骨欠損に対する歯周組織再生療法	88
	大臼歯部の歯間乳頭部切開：改良型SPPF	89
	症例1：MISTを用いた大臼歯部の垂直性骨欠損に対する歯周組織再生療法	90
Case 2	M-MISTを用いた歯周組織再生療法	96
	症例2：[2]の垂直性骨欠損へのM-MISTによる歯周組織再生療法(再生材料なし)	98

【歯間乳頭を切断しない新しい低侵襲なフラップデザインを応用した臨床例】

Case 3	歯間乳頭を切断しないフラップデザインを用いた歯周組織再生療法①	102
	症例3：[6]遠心部垂直性骨欠損へのEPPTを用いた歯周組織再生療法	104
Case 4	歯間乳頭を切断しないフラップデザインを用いた歯周組織再生療法②	108
	水平切開の位置と長さに関する考察	109
	症例4：[3]垂直性骨欠損へのNIPSAを用いた歯周組織再生療法	110

【日常臨床で時折遭遇する骨欠損に対し低侵襲なフラップデザインを応用した臨床例】

Case 5	支台歯(ブリッジ)の骨欠損への歯周組織再生療法 ……………	114
	症例 5 : [7]の支台歯(ブリッジ)の垂直性骨欠損への歯周組織再生療法(TICITの応用) ……	116
Case 6	埋伏智歯抜歯後の下顎第二大臼歯遠心骨欠損への歯周組織再生療法 ……………	120
	症例 6 : [7]垂直性骨欠損に対してEPPTを用いた歯周組織再生療法 ……………	122
Case 7	クレーター状骨欠損への歯周組織再生療法 ……………	124
	症例 7 : クレーター状骨欠損への歯周組織再生療法 ……………	125

【重度骨吸収したアドバンスな症例に対し低侵襲なフラップデザインを応用した臨床例】

Case 8	根尖部までアタッチメントロスした歯に対する歯周組織再生療法 (Er:YAGレーザーの応用) ……………	130
	症例 8 : 頬側裂開をとまなう漏斗状重度骨欠損への歯周組織再生療法 (Er:YAGレーザーの応用) ……………	132
Case 9	連続した垂直性骨欠損への歯周組織再生療法 ……………	138
	症例 9-1 : 連続したMISTを用いた歯周組織再生療法 ……………	139
	症例 9-2 : 連続したM-MISTを用いた歯周組織再生療法 ……………	139
Case 10	垂直性骨欠損と根分岐部病変の合併症例への歯周組織再生療法 ……………	140
	マイクロサージェリーを応用した根分岐部病変に対する歯周組織再生療法 ……………	140
	症例 10 : [6]近心class II, subclass B根分岐部病変への歯周組織再生療法 ……………	142

Chapter 5

**歯周組織再生療法を失敗させないための
術後管理・メンテナンス**

Section 1	歯周組織再生療法後の術後管理およびメンテナンス ……………	152
	1. 第1期(術直後～1週間後[抜糸]) ……………	154
	2. 第2期(1週間後[抜糸後]～1か月後) ……………	156
	3. 第3期(1か月後～9か月後[再評価]) ……………	157
	4. 第4期(9か月以降[メンテナンス]) ……………	158
Section 2	歯周組織再生療法の術前後の記録と評価 ……………	159

参考文献	……………	163
------	-------	-----

索引	……………	167
----	-------	-----

参考動画集

動画①	M-MISTを用いた歯周組織再生療法(前歯部) ……………	21
動画②	MISTを用いた歯周組織再生療法(第一小臼歯部～第一大臼歯部) ……………	49
動画③	MISTを用いた歯周組織再生療法(大臼歯部) ……………	90
動画④	EPPTを用いた歯周組織再生療法(第一大臼歯遠心) ……………	104
動画⑤	NIPSAを用いた歯周組織再生療法(犬歯) ……………	110
動画⑥	TICITを用いた歯周組織再生療法(第二大臼歯) ……………	116
動画⑦	根尖部までアタッチメントロスした歯に対する歯周組織再生療法 ……………	132
動画⑧	垂直性骨欠損と根分岐部病変の合併症への歯周組織再生療法(class II, subclass B) ……	142